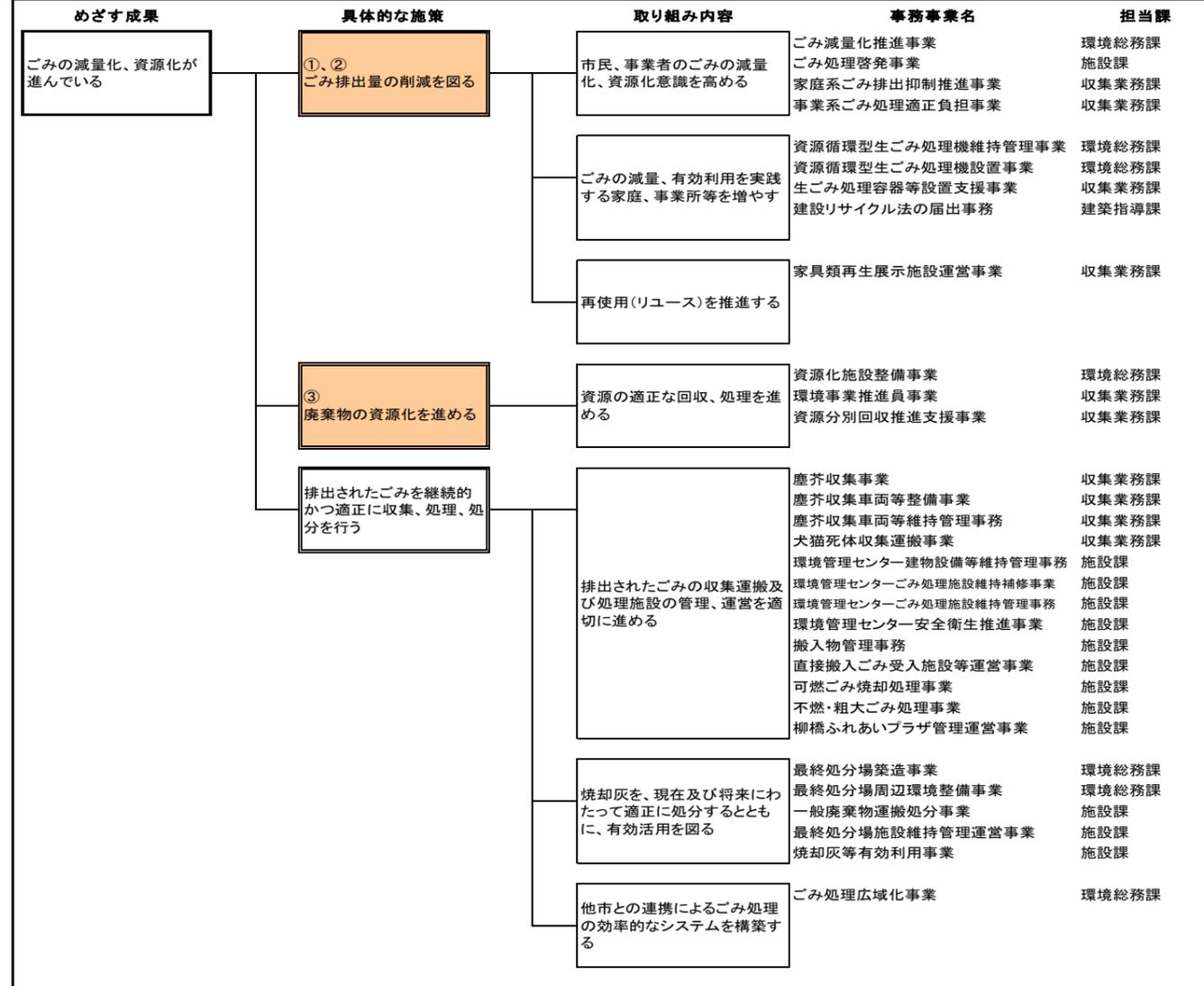


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

4-1-1 ごみの減量化、資源化が進んでいる

総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・環境を守り育てるまち
	個別目標	環境への負荷を減らす
	めざす成果	ごみの減量化、資源化が進んでいる ごみの減量化、資源化が図られ、処理されるごみの量が減っています。また、ごみの収集や焼却処理、資源化処理が適正に行われています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
ごみの量（家庭系ごみ）		ごみの量（事業系ごみ）		リサイクル率	
計画策定時 現状値	37,278t	計画策定時 現状値	20,270t	計画策定時 現状値	24.3%
実績値 (H21)	37,917t	実績値 (H21)	17,464t	実績値 (H21)	23.1%
中間目標値 (H23)	37,135t	中間目標値 (H23)	19,132t	中間目標値 (H23)	26.0%
目標値 (H25)	36,720t	目標値 (H25)	18,471t	目標値 (H25)	27.4%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	<p>【ごみ排出量の削減を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量、有効利用を実践する家庭、事業所等を増やすために、生ごみ処理容器等設置者に対し、購入費の一部を助成しました。また、ごみを発生させないライフスタイルの提案として、大和まつりや環境フェア等のイベントを通じて、パネル展示・エコバックの配布などの啓発を行いました。 <p>【廃棄物の資源化を進める】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源の分別を推進するため、市内各戸へ「家庭の資源とごみの分け方・出し方」を配布するほか、市ホームページ等においても周知を図りました。 焼却灰等を資源化できるエコセメントや路盤材原料として資源化処理し、有効利用を図りました。 <p>【排出されたごみを継続的かつ適正に収集、処理、処分を行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> 塵芥収集車両等を適正に管理し、可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみの戸別収集を実施しました。 ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の維持補修について、「環境管理センター新一般廃棄物（ごみ）処理施設維持補修計画」に基づき、主要設備機器の更新を含んだ補修を計画的に実施しました。
----------	--

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化、資源化を進めるためには、市民、事業者と協働して、ごみの発生抑制や資源として循環や再利用をすることが大切です。このためには、焼却灰等の安全かつ安定的な処分場を確保するとともに、資源化による有効利用が必要となります。 また、資源選別所の老朽化が激しく、整備が急務となっていますので、国の交付金を活用した施設の更新に向け、大和高座ブロックで交付金申請に必要な計画を策定します。 なお、ごみの適正な処理・処分を継続することも重要なことから、既存の一般廃棄物処理施設の適正な維持管理を行うとともに、可能な限り長く使用できるよう、ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設について、効率よく更新・維持補修を行い、施設の延伸化を図ります。
-------------------------	--

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した大和市資源選別所の更新に向け、計画策定や地元説明を行う予定です。 「環境管理センター新一般廃棄物（ごみ）処理施設維持補修計画」に基づき、施設使用期間の延伸に向けた維持補修を実施します。 	（該当する事務事業） 資源化施設整備事業 環境管理センターごみ処理施設維持補修事業 資源分別回収推進支援事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 焼却灰の資源化の拡大に向けて、引き続き情報収集や研究に努めます。 	（該当する事務事業） 焼却灰等有効利用事業
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成23年度の審議予定となっています。